

## テニス上達動画プレゼント中!

何をすれば上手くなるかわからない・・・  
あなたはこんな悩みをお持ちではありませんか?  
テニスが短期間で上手くなる  
**上達の秘密**・・・  
今なら無料でお教えいたします。

**今すぐコチラを  
クリックして**  
自分の悩みを確認する。

### 硬式テニスネットはなぜ真ん中が低い?

軟式テニスのネットは、真っすぐであるのに、硬式テニスのネットは中央部分が低くなっているのはなぜでしょうか?

#### 物理的な理由

昔テニスが始まった当時は物理的にネットを一直線に張る技術がなく、ネットの重量でどうしても中央がたるむので、仕方なく中央が下がったままでやっていました。

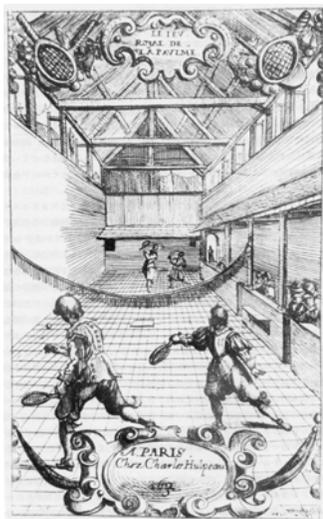
同じ条件で、プレーをするためにネットストラップで明確に高さを設定したようです。

その当時のネットの高さがルールになったため、ネットを一直線に張る技術ができた現在でもわざわざネットストラップで中央を下げているというのが一般に言われている理由です。

#### テニスの歴史

11世紀～12世紀にフランスの修道院で考え出された「ジュ・ド・ポーム」(jeu de paume) がテニスの原型とされています。

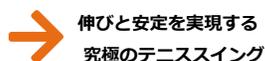
初めは、素手や手袋をはめてボールを打っていましたが、しだいにラケットが使われるようになりました。王室、僧侶、貴族の間に流行しました。



1632年にパリで出版された中世のテニス解説書の口絵

出典 『The Annals of Tennis』(1878年刊)

下の画像は 現代のアメリカのサウスカロライナ州エイケンテニスクラブのジュ・ド・ポームのコート



🕒 テニス最短上達プログラムDVD『コアスイング2.0』  
詳細はこちらをクリック





画像 Eoghanacht

屋内で競技するジュ・ド・ポームのコートは、床とそれを囲む壁面、さらにその壁面に沿って設置される庇(ひさし)から構成されています。

ネットはピンと張らず、中央の部分が低くなるように、わざとゆるませています。

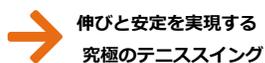
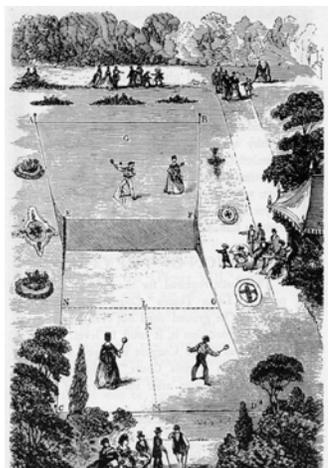
ジュ・ド・ポームは、ヨーロッパ各地で流行するようになり、ほかの類似の打球ゲームと区別するため、ポームを「リアルテニス」と呼ぶようになりましたが、ルールの統一がされておらず混乱が絶えませんでした。

1873年、英国のウォルター・ウィングフィールド少佐は発明されたばかりの芝生で弾むボールに着目して、「スファイリスティック(ギリシア語でプレーの意)またはローンテニス」と名づけた競技を考案しました。

ローンテニスは、コート、ルール、用具を整理統一しました。

当時のネットの高さは、センターで1.42mもあったそうです。

ウィングフィールド少佐は、このコートに合わせた三角形のネットと洋ナシ形のラケット4本、ゴムボールにルールブックを付けたものをセットにして「実用新案特許」を申請し、商品化したのです。



発売されたローンテニス・セットの解説書に図解されているゲームのイラスト

出典◎『WINGFIELD: Edwardian Gentleman』（1986年刊）

「ローンテニス」は、芝生の上ならどこでも楽しめる「持ち運びのできるテニス」などともいわれ、男女ともにでき、運動になるという点でこれまでのいかなるスポーツとも異なっていました。このゲームはまたたく間に人気になり、近代テニスの元祖となりました。

1874年には、より弾むボールが開発されました。

**1877年には、アマチュアのオープン大会として「ウィンブルドン大会」が創設され、このときに、コート広さや得点方法など、さまざまなルールが決められました。**

以降毎年大会が開かれるようになり、この大会が現在の「ウィンブルドン選手権」へととなりました。

第1回ウィンブルドン大会と伝えられている絵

出典◎『WIMBLEDON: the Official History of the Championships』（2001年刊）

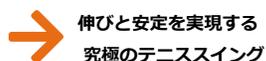
**第1回大会の出場選手は、男子22名で、みんな下からアンダーサーブを打っていたそうです。**

その後、ネットポストの材質が木製から1880年代になって鋼鉄製となり、ネットを強く張ることができるようになりました。

1883年には、コートサイズ縦23.77m×シングルス8.23m、ダブルス10.97m、ボール1.07m、ネットストラップ0.914m、サービスボックスの長さ6.4m等々の現行サイズが決まりました。

それ以前は、ネットの高さはセンターで0.99m,両サイドは1.54mもあったそうです。

ネットの高さの変化は、ラリーの応酬のための適切な高さが求められたことも要因です。



ネットが低くなったことで、サーブも上から打つサーブへと変わっていきました。

1897年ウィンブルドン選手権 J. Parmley Paret

テニスの歴史についてもっと知りたい方は、こちらをどうぞ

[テニスの学校 | 硬式テニスの総合情報サイト](#)

### 硬式 テニスの起源や歴史【動画有】

<https://tennis-gakko.info/about-tennis/history>

テニスファンの皆さんに、テニスの起源や歴史をお伝えします。今では、テニスは世界中で競技されるメジャーなスポーツの一つです。テニスの前身のゲームは、貴族の遊び...

## 今後は、変化する？

この真ん中だけ低くなっているネットの高さは、今後も続いていくのでしょうか？

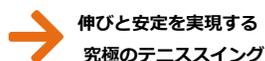
ラファエル・ナダル選手は、以前、用具の進化でスピードやパワーの方が技術や戦術より優位に立った場合、将来のテニス界は問題に直面することになると発言したことがあります。

ラファエル・ナダル選手

2016年マイアミ・オープンのシングルス初戦を前にした会見で

「テニスは全般的に、すべての側面から改善が必要になっている。今日の選手は今までよりも長身だ。ラケットも以前より強い球が打てる。その中で、ネットがどれくらいの高さであるとか、すべての面でルールが変わっていないというのも事実だ」

現代のテニスは、選手の技術の向上、フィジカルの向上、そしてラケットなど用具の向上によって、早い試合展開が主流となり、長身のビックサーバーが台頭していることもあまって、1ポイントの展開が短くなりつつあります。



伸びと安定を実現する  
究極のテニススイング



テニス最短上達プログラムDVD『コアスイング2.0』  
詳細はこちらをクリック



リーを好む。サーブが1本、ショットが1本だけのすごい試合というのは記憶にないからね」

「観客が一番記憶する試合は、信じられないポイントのある長時間の試合だ。1本のサーブや1本のショットだけに称賛が送られたり、感情が出たりすることはない」

ナダル選手の発言は、テニス人気が続くように、ルール変更を求めたものです。

2017年に新しく開設された21歳以下の選手によるイタリア・ミラノで開催したツアー・ファイナル ATPの大会では、「時短」をテーマにルールを変更されました。

1セットを4ゲーム先取とし、3オールで並んだ場合はタイブレークを行う新ルールを導入しました。

こうしたナダル選手のような意見が反映されて、近い将来ネットの高さが変わるかもしれませんね。

## まとめ

硬式テニスのネットストラップの通し方について、なるべく細かくわかりやすくお伝えしました。

また、ネットストラップを使って低くしている理由や歴史、今後についてもふれてみました。

テニスという競技を面白くさせるのに、大きな影響のあるネットの高さ。

こちらの記事で、この高さの意味を考えてみるきっかけとしてみてください。